

水平社創立を準備し、初期水平運動の中核であった奈良県下の創立期水平運動の行政側文書の復刻。今日まで、取締り警察側の二次的編纂物が資料の主流であったが、本資料は地方行政側の一次資料であり、水平社創立へ向う、部落民の生の声を集積している。
旧奈良県庁文書の膨大な資料を整理し復刻。

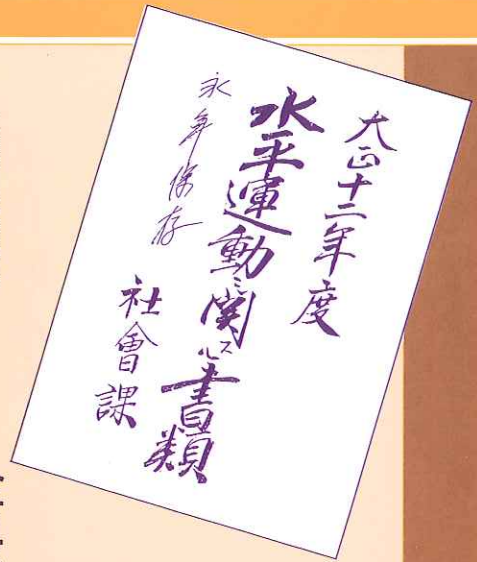
不二出版

〔(仮称)水平社歴史館〕建設推進委員会 編

●推薦
秋定嘉和 (池坊短期大学教授) / 朝治 武 (大阪人権歴史資料館) / 金井英樹 (奈良県部落解放研究所 水平社運動史部会)

創立期水平社運動資料

奈良県水平社資料集Ⅰ



●収録資料内容

- 第1巻・第2巻 『水平社一件記録』大正11年～大正12年・庶務課・5000頁
- 第3巻 『水平運動ニ関スル書類』大正12年度・社会課・578頁
- 第4巻 『水平一件』他大正11年～大正13年・社会課・5000頁
別冊Ⅱ所収資料目次・解説

●復刻版概要
全4巻・別冊1・B5判・上製本・総2,000頁 本体価格 70,000円 [94年5月刊]

『創立期水平社運動資料』復刻によせて

秋定 嘉和

思いおせば三〇年近くにもなる。奈良県庁舎が木造の二階建てだったと記憶している。そのとき、広大な所蔵資料の倉庫内をみせていただいた。冷気と古文書独特の臭いのなかで、「維新」以来の膨大な行政文書の数量に圧倒された。「同和行政関係文書」の棚はすぐみつかった。丈夫な木製棚一〇段ぐらいの三、四個（数百級分ぐらい）分あったのを記憶している。その質量は、その後、見聞した他府県のものをはるかにこえていた。さまざまな研究分野と問題意識からみて一生かかって勉強できると思いがあつた。

その後、『奈良県同和事業史』（県刊）を学び、『奈良の部落史』（市刊、全二冊）に関与し、県庁を再訪し驚いた。「高度成長」のなか改築され、所蔵資料の多くは処分され、一部保存されたという。その後の伝聞では、処分の一部は天理大学に、一部は県立図書館が所蔵に努めたとのことであつた。

今回、復刻される資料類は、幸運にも残存をみた『創立期水平社運動資料』の貴重な残部である。今日まで一部分の利用にとどまった第一級資料の一部分であれ全面的紹介が行なわれるわけである。これまで、解放運動に対する研究者側からのせめてもの協力により、若干の資料紹介をさせていただいたわたくしからみて、これから他府県においてもこのような運動と研究者の共同作業は可能と思つている。この復刻は、その可能性を示唆するものである。

（池坊短期大学教授）

地域社会における創立期水平社運動の研究に不可欠

朝治 武

まず、一枚の文書を掲げよう。拜啓時下益々御清奉賀候、陳者御承知の如く来る三月三日を期し京都市に於て水平社創立記念を兼ね関係代表者総会開催有之候処、右は刻下の状況に照し慎重注意を要すべき事項と認め候に付、視察の為本局より今井、三次両嘱託を派遣致候に、付ては貴庁に於ても極秘裡に関係吏員を派して視察せしめられ、詳細の状況並に右運動に対する所感及び之か対策等御通報相煩度、此段得貴意候 敬具

二月二十四日 田子社会局第二部長 成毛奈良県知事 申添候

全国水平社創立一年後の第二回大会の一〇日前、第二部長の田子一民はその視察のため内務省社会局から嘱託の今井兼寛、三次伊平次の派遣を予告し、水平社発祥地である奈良県の成毛基雄知事に対して、極秘に職員を派遣してその詳しい状況と水平運動に対する感想、対策などを報告するように求めている。タイプ打ちのこの史料は『水平社一件記録』に綴られたもので、創立期の全国水平社に対する政府の強い関心と具体的な対応を示す重要な史料であるが、これまで紹介されることはなかった。この史料を含む奈良県立奈良図書館所蔵にかかる創立期水平社関係の膨大な行政文書資料は、存在は知られつつもこれまで部分的に紹介されたり、研究上わずかに利用されただけで、今回のようにまとめて復刻されることは初めてである。

本資料集は、奈良県下の水平社創立と組織状況、水平社同人の多様な思想、水平社と結集する子どもによる学校などでの差別糾弾闘争、それに対する県、郡、町村、警察、学校などの対応・対策、県による水平社と融和団体との合体の画策、政府からの通達、各府県からの水平運動の状況報告などの興味深い事実を次々と明らかにしてくれる。地域社会における創立期水平社運動の実像と、それを取りまく諸問題を解明するための不可欠な資料集といえよう。

（大阪人権歴史資料館学芸員）

初期水平社の輝かしい足跡

金井 英樹

水平社が創立された一九二二年に京都府警察部は、水平社と従来の融和運動を比較して次のように報告している。いわく、従来の運動は、「一、一部は自己、大多数は一般民の力に依頼せんとす。二、一般の同情を要求す。三、現在の組織を以て進む」ものであるのに対して、水平社の主張は、「一、飽迄自力を以て立たんとす。二、一般人の救済慈善及同情を排斥す。三、社会の改造を目的とす」るものであるとしている。ここに大づかみに示されたように、自力の決起で、同情を排し、差別社会の改造を目指した水平社の運動は多くの被差別大衆の心に共感を呼び、まさに燎原の火の如く拡がりを見せた。

水平社の綱領には「人類最高の完成に向かつて突進す」とうたわれ、その宣言が「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と結ばれていることはよく知られているが、初期水平社の行動が、日常の差別に対する糾弾に集中していることは、いかに日々の生活の場が、差別そのものであり、かつそれを温存助長するものであつたかを物語っている。

今回復刻される『水平社一件記録』をはじめとする奈良県の行政文書は、そのような差別の現実を抗した水平社同人たちの足跡が、生々しく記録として止められているものである。そのなかには、学校教育の場における数多くの差別が報告され、それに対する糾弾が刻みこまれている。それはまた、教育や子どもに期待する未来に向けた反差別の行動でもあつた。水平社発祥の地としての奈良

県内における各地方水平社の活動の記録は、まさに差別からの解放の闘いの軌跡でもある。さらには、行政側の対応なども含めて、極めて興味深い実態が、数多くの資料によって赤裸々に綴られている。この創立期水平社運動資料Ⅱ奈良県水平社資料集Ⅰは、二〇年以上前の『奈良県同和事業史』にその一部が紹介されたが、今回の復刻によって、初めてその全貌が明らかになった。県内の人々だけでなく、広く全国の解放を希求する人たちに読み解かれんことを願う。

（奈良県部落解放研究所）

『創立期水平社運動資料』内容見本

松本茂男（二七号）

大正十二年三月二十七日

松山警察署長

警察部長宛

水平社設立二周年に件

如母平五郎様松本茂男ニテモリリ以テ報告
此頃ヲ祝賀スルニモリリ以テ祝賀スルニモリリ以テ
留ハ昨年三月四月頃モリリ以テ水平社ノ印刷
不備ノ事モリリ以テ同会ノ行動ヲ祝賀
御礼スルニモリリ以テ同会ノ行動ヲ祝賀
御礼スルニモリリ以テ同会ノ行動ヲ祝賀
送附水平社幹部 駒井弁師一様

高松第三一號

大正十二年三月二十八日

京都府知事池松時和

内務大臣水野錬太郎殿
社会局長塚本清治殿
警視總監赤池濃殿
各府縣長官殿

水平社対國粹會闘争事件ニ関スル件
奈良縣下ニ於ケル水平社対國粹會・闘争事
件ニ関シ水平社幹部、談片ヲ綜合スルニモリ
リ以テ通リ有之

1 更生

- 原本 昭和10年3月↓同16年8月/全40号
- 概要 全7巻・別冊1/A5判・上製・函入・総2,688頁
- 別冊 解題・総目次・索引(分売価1,000円)
- 解題 藤野 豊(日本近現代史研究者)
- 本体価格 揃価600,000円(品切)

2 警鐘

- 原本 大正9年9月↓大正11年8月/全19号(第2巻第1号は欠号)
- 概要 B5判・上製・函入・572頁
- 解説 松尾尊允(京都橘女子大学教授)
- 発行 奈良県磯城郡大福村三協社
- 本体価格 15,000円

3 初期水平運動資料集

- 原本 大正11年から昭和2年にかけての全国21紙・誌を収録
- 概要 全5巻・別冊1/A5・B5・A3判・上製・函入・総2,042頁
- 別冊 解説・総目次・索引(分売価1,000円)
- 解説 藤野 豊
- 本体価格 揃価850,000円

4 愛国新聞

- 原本 大正12年5月↓昭和2年3月
- 『三重水平新聞』全2冊
- 『愛国新聞』改題『三重農民新聞』全47号(第31・33・36・44・46号は欠号)
- 概要 B4判・上製・函入・314頁
- 解説 黒川みどり(早稲田大学非常勤講師)
- 発行 三重県松阪 愛国新聞社
- 本体価格 18,000円

5 ワシラノシンブン

- 原本 大正13年7月↓大正14年11月
- 『ワシラノシンブン』改題『解放新聞』全30号
- 概要 B4判・上製・函入・246頁
- 解説 園部裕之(早稲田大学大学院)
- 発行 大阪府南河内 ワシラノシンブン社
- 本体価格 18,000円

○弊社は注文制です。

お近くの書店へご注文ください。

○本カタログ中の表示価格は、

全て消費税を含んでおりません。

不二出版

〒113 東京都文京区向丘 1-21-12
 TEL 03-3812-4433
 FAX 03-3812-4464
 振替 00160194084